

公 表

第 2 5 回技能グランプリ「建築配管」職種競技課題

- ①下表の材料を用い、別図に示す課題No. 1、No. 2 の作品を製作しなさい。
 ②課題No. 1 は合板にサドルバンドを使って、水平に取り付ける。塩ビ製バルブソケットは、ねじ山部分を合板の外へ25mm突出させる。
 ③課題No. 2 のPトラップは、継ぎ目なしの1本もので加工する。
 ④作品は磨かないこと。

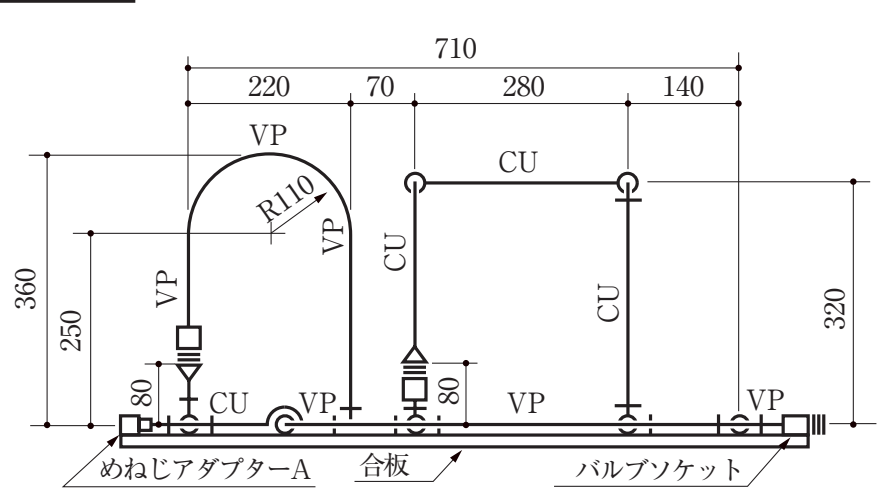
競技時間 標準時間 5 時間 3 0 分 打切時間 6 時間

材 料 表

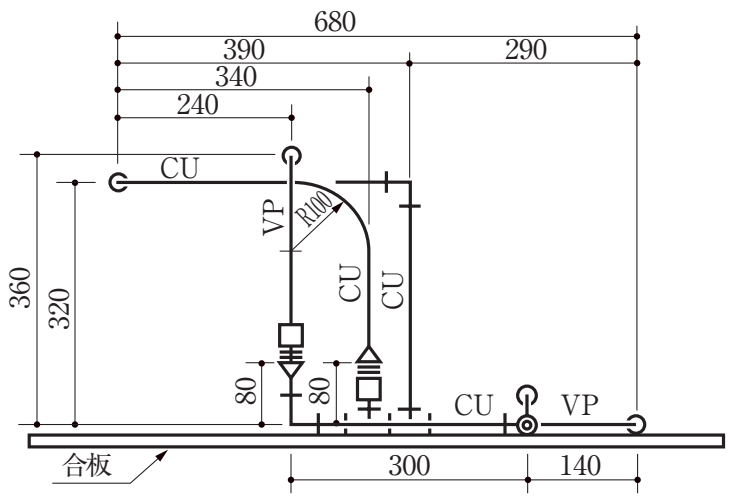
品 名	寸法又は規格	数 量	備 考
鉛 管 (排水通気用鉛管 SHASE-S 203)	内径30mm	700mm	700mm×1本
銅 管 (Lタイプ) (銅及び銅合金の継目無管 JIS H 3300)	15A	4,000mm	2,000mm×2本
銅管継手 (銅及び銅合金の管継手 JIS H 3401, JCDA 0001)	1種T	15A	2個
	1種90°エルボA	15A	2個
	1種めねじアダプターA	15A	4個
銅管用サドルバンド		3個	
水道用硬質塩化ビニル管 (水道用硬質ポリ塩化ビニル管 JIS K 6742)	13A	5,000mm	2,000mm×2本 1,000mm×1本
水道用硬質塩化ビニル管継手 (水道用硬質ポリ塩化 ビニル管継手 JIS K 6743)	T	13A	4個
	エルボ	13A	2個
	バルブソケット	13A	4個
塩ビ管用サドルバンド		4個	
木ねじ (コーススレッド)		14個	
胴長横水栓	13A	1個	
合 板	約910mm×910mm×12mm	1枚	作品取付用
	約910mm×910mm×4mm	1枚	原寸図作成用
ガソリン (白)		2ℓ	

公表


第25回技能グランプリ建築配管職種競技課題No.1

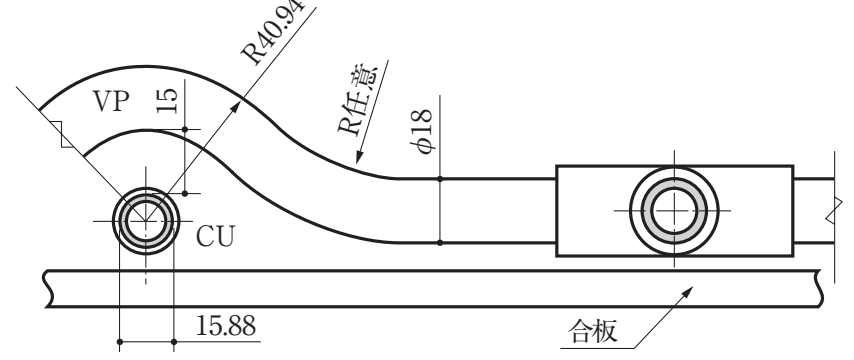
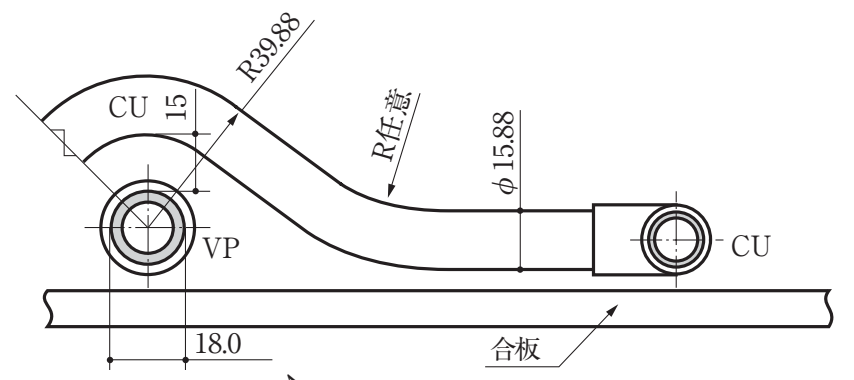


A-A立面図S: 1/10

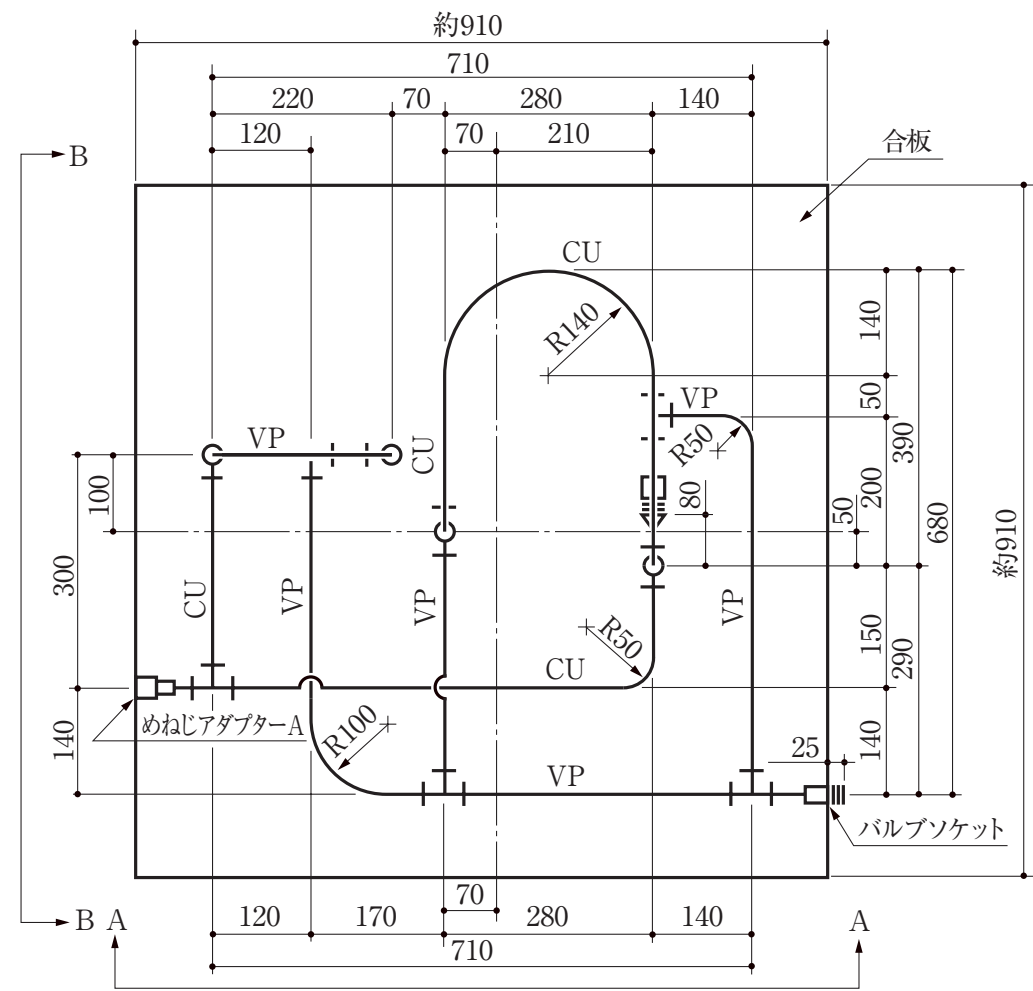


B-B立面図S: 1/10

凡	記号	名称	呼び径	外径(mm)
	VP	硬質塩化ビニル管	13A	18.0
	CU	銅管(Lタイプ)	15A	15.88
例		銅製めねアダプターAと塩ビ製バルブソケットの組合せ		

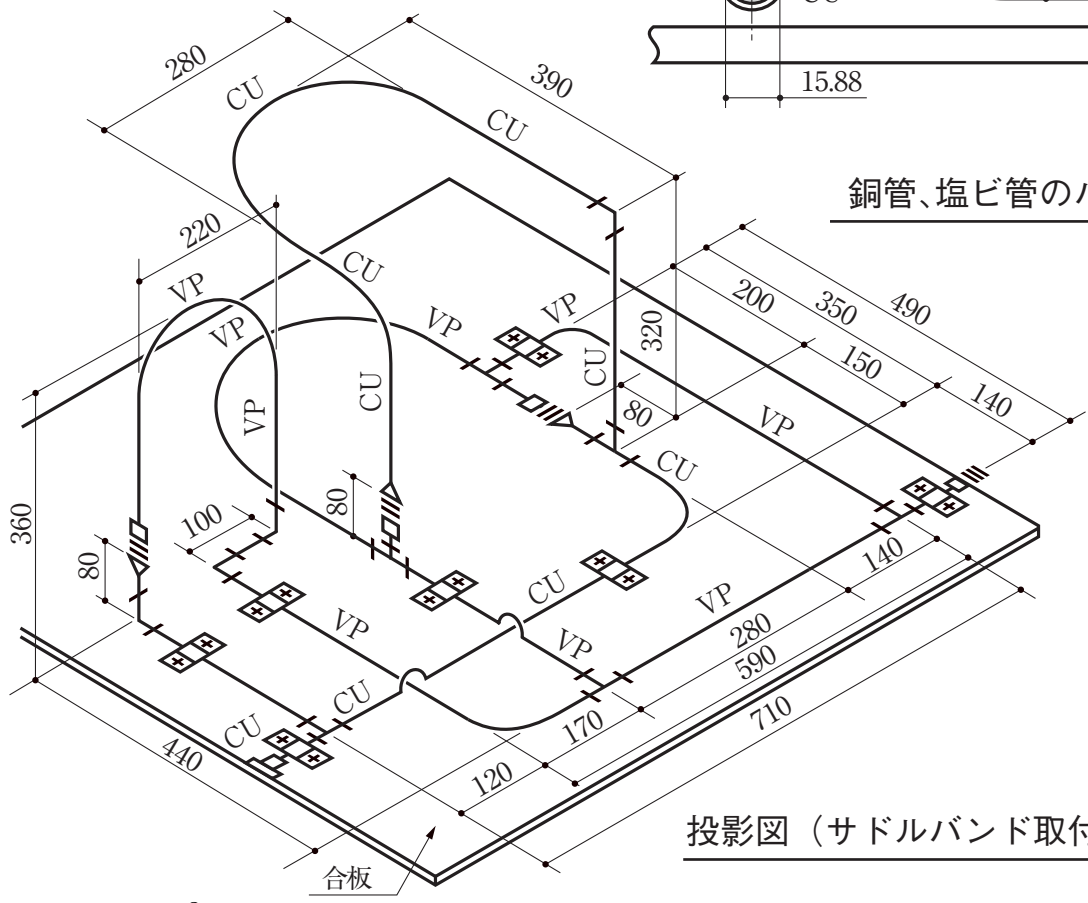


銅管、塩ビ管のパイプ越えS: 1/2



(注) 曲げRは、管の内寸法とする。

配管平面図S: 1/10

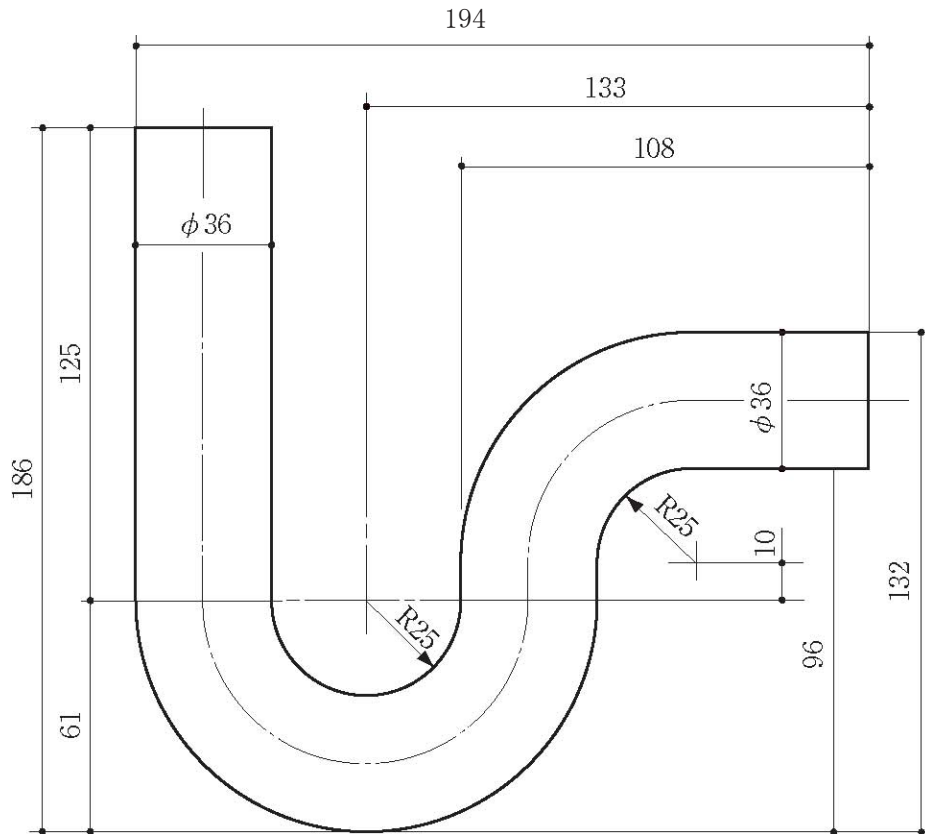


投影図 (サドルバンド取付位置)

縮尺	1/2, 1/10
標準時間	5時間30分
打切時間	6時間

公表

第25回技能グランプリ建築配管職種競技課題No. 2



Pトラップ (S : 1/2)

公表

第25回技能グランプリ「建築配管」職種 持参工具等一覧表

区分	品名	寸法又は規格	数量	備考
工具類	ベンドベン		適宜	30mm鉛管用
	ため棒		適宜	30mm鉛管用
	ドレッシャー（拍子木）		適宜	30mm鉛管用
	ハンマー		適宜	木づち、金づち、プラスチック
	やすり		適宜	鉛管用、銅管用
	銅管用研磨ブラシ		適宜	サンドペーパー・内外両面ブラシ
	面取り器		適宜	塩ビ管用・銅管用
	のこぎり		適宜	鉛管用、塩ビ管用（カッターは使用禁止）
	カッター		適宜	銅管用
	サイジングツール		適宜	銅管用
	はさみ		適宜	型板作成用
	トーチランプ	ガス用、 ガソリン用	適宜	トーチランプの着火は、1台のみとし同時使用は認めない。 ガソリンは会場準備、ガス使用の場合はガスカセットを持参のこと。
	モーターレンチ		適宜	
	モンキーレンチ		適宜	
	ウォーターポンププライヤー		適宜	
ドライバー		適宜	充電式ドライバーの使用は可能。	
きり		適宜		
木せん		適宜	銅管及び塩ビ管砂曲げ用	
接合材料	銅管用はんだ		適宜	
	フラックス		適宜	銅管はんだ用
	塩ビ管接着剤		適宜	塩ビ管接合用（無色透明のものとする）
	シールテープ		適宜	
測定具他	定規		適宜	直・曲尺、巻尺、折り尺、ノギス等
	製図用具		適宜	
	Vプロック	長辺125mm以下	適宜	使用は4個までとする。
	スコヤ		適宜	使用は2本までとする。
	水圧テスト器（手動式）		1	接続用カプラーは、会場で支給する。
その他	砂		適宜	
	亜鉛鉄板	300mm×300mm程度	適宜	型板作成用（着色のものも可、型板は競技時間中に作成のこと）
	筆記用具		適宜	原寸図作成用
	着火用ライター等		適宜	
	小ぼうき		適宜	ちり取り共
	霧吹き		適宜	
	ウエス及び手袋		適宜	
作業服等		一式	作業服、作業帽（布製も可）、作業靴を着用のこと。	

(注)①この表に記載されているもの以外の使用（治具的要素のあるもの）は認めない。不明な場合は、競技下見日に競技委員に相談のこと。

②充電式ドライバーの会場での充電は認めない。

③水容器を持参してもよいが、指定された競技者枠内で使用すること。

④会場には「耐火レンガ」「バケツ」の準備がある。

公 表

第25回技能グランプリ「建築配管」職種 競技会場設備基準

設 備 の 名 称		寸 法 又 は 規 格	数 量	備 考
区 分	品 名			
1. 作業場所面積		競技者1人当り 2.5m×2.5m	人 数 分	
2. 選手控室		机、椅子等	人 数 分	
3. 競技場構造	1. 床は、コンパネ等で養生し、トーチランプを使用する関係上火気に安全な場所とする。 2. 照明は、競技者手元500ルクス以上とする。 3. 禁止区域等は、トラロープ（支柱共）を設置する。 4. 給排水可能な2槽式シンクを設置する。			
4. 工作用具類	れ ん が	競技者1人当り	4 枚	
	バ ケ ツ	競技者1人当り 4ℓ入り以上	1 個	冷却用
5. そ の 他	黒 板	ホワイトボード（移動式）	2 面	時間割掲示用
	時 計		2 個	競技時間計測用
	マ イ ク		1 式	
	清 掃 用 品		1 式	
	救急用薬品		若 干	
	消 火 器		適 宜	

公表

第25回技能グランプリ「建築配管」職種 競技実施要領

1. 一般的注意事項

- (1) 競技中は、競技委員、運営委員及び競技補佐員の指示に従うこと。
- (2) 競技下見日に配布された「課題図」「材料表」「持参工具等一覧表」は、終了後に回収する。競技当日は、改めて配布されたものを使用すること。
- (3) 下見日の持参工具展開は、選手のみとし、運搬等補助が必要な場合は、競技委員、競技補佐員に申し出ること。ただし、競技終了後の収納等は、この限りではない。
- (4) 工具箱は、指示された所定の工具保管場所に置くこと。
- (5) 工具等の片付けは、選手全員の競技が終了してから行うこと（別途指示がある）。
- (6) 付き添い者は、競技下見日及び競技日は、所定の場所で見学し、競技中選手に話しかけたり、指示をしないこと。これらの行為を行った場合には、不正行為とみなし、失格または特別減点とする。また、競技に関する質問等は、選手本人のみとする。

2. 材料・持参工具等について

- (1) 競技下見日に配布された材料表をもとに、各自支給材料の数量・不具合について確認すること（競技開始後の異議は、認めない）。
- (2) 「持参工具等一覧表」にない工具は、使用を認めない。使用した場合は、減点とする。また、治具的要素のある工具を使用した場合も、減点とする（不明な場合は、競技下見日に競技委員に相談のこと）。
- (3) 合板とガソリンは、競技日に支給する。
- (4) 競技で使用する水は、競技下見日に用意すること。

3. 競技について

- (1) 競技場所は、競技下見日に抽選で決定する。
- (2) 競技は、競技時間割に基づき実施する。
- (3) 競技開始時間の2分前には、各自の競技場所にて待機すること。
- (4) 競技の開始及び終了は、ホイッスルと場内アナウンスにて行う。
- (5) 競技時間の基準時計は、競技日に指示する。
- (6) 標準時間 : 5時間30分

- (7) 打切時間 : 6時間 (減点の対象となる)
- (8) 昼食時間 : 1時間 (12:00～13:00)
- (9) 休憩時間 : 午前・午後各1回 15分間
- (10) 競技中の退席 (トイレ等) は、手を上げて意思表示すること。
ただし、このロスした時間は、競技時間に含むものとする。
- (11) 作品が完成したら手を上げて申告する。
その後、一旦競技場所の外 (見学者エリア) で待機する。

4. 安全事項

- (1) 競技は、安全を最優先して作業をすること。
- (2) 競技は、作業に適した服装を着用すること。
- (3) 競技下見日・競技日は、後片付け終了までゼッケンナンバーをつけること (競技下見日に持ち帰らないこと)。
- (4) トーチランプの同時使用は認めない。
- (5) ガスカートリッジ、ガソリンの取り扱いには十分注意すること。
- (6) ガソリンの支給は、競技日の競技開始前及び昼休みとするが、必要に応じ休憩時間も可能とする (ただし、本体加熱の場合は、十分な冷却を確認後支給するものとする)。なお、加圧・点火は競技時間内とする。
- (7) 作業の中断・終了時には、火気の始末等を特に注意すること。

5. 採点要領

作品の採点にあたっては、次に示す採点要領を適用する。

(1) 採点項目と配点

採 点 項 目		配点 (点)
作品採点	寸 法 精 度	60
	出 来 ば え	30
作 業 時 間 採 点		5
作 業 態 度 採 点		5
合 計		100

(2) 減点

- ① 競技時間内における材料の再支給は、1個につき8点の減点とする。
- ② 製作等の大きな誤りは、競技委員全員の合議により減点とする。

(3) 漏水

競技終了1時間以後、水圧1.75MPaの水圧審査を2分間行い、その結果、漏水が生じた場合は、採点しない。

(4) 未完成

延長時間内で完成しないもの、または水圧審査を行うことが不可能なものは、これを未完成の作品とし採点しない。

6. その他

(1) 携帯電話の持込は、不可とする。

(2) 昼食(弁当)が支給される(競技下見日、競技実施日)。

(3) 集合時間 競技下見日：午前9時45分(時間厳守のこと)。

競 技 日：午前8時30分(")。

(4) 競技場内は、禁煙とする(喫煙は所定の場所で)。

(5) 競技時間中の水分補給でペットボトル等の持ち込みは、認める(蓋のついたもの)。

7. 競技時間割

3月21日(土)

時 刻 (時：分～時：分)	所 要 時 間 (時. 分)	摘 要
8：30～ 8：40	0.10	選手集合、受付
8：40～ 9：00	0.20	競技注意、課題説明、競技準備
9：00～10：15	1.15	競 技
10：15～10：30	0.15	休 憩
10：30～12：00	1.30	競 技
12：00～13：00	1.00	昼 食 ・ 休 憩
13：00～14：30	1.30	競 技
14：30～14：45	0.15	休 憩
14：45～16：00	1.15	競 技(標準時間 5.30)
16：00～16：30	0.30	競 技(打切時間 6.00)